

第2次相模原市子ども・子育て支援事業計画の実施状況の点検・評価

及び中間年の見直しについて

第2次相模原市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和2年度～令和6年度、以下「計画」といいます。）は、計画に位置付けた施策を着実に推進していくため、毎年、前年度に実施した事業の進捗状況を「相模原市子ども・子育て会議」に報告し、点検・評価を受けています。

計画は、子ども・子育て支援法に基づく幼児期の教育・保育の需給計画と地域子ども・子育て支援事業（13事業）のほか、平成26年度まで取り組んできた次世代育成支援行動計画及び令和元年度まで取り組んできた相模原市子ども・子育て支援事業計画を引き継いだ計画となっているため、点検・評価にあたっては、3つの項目に区分して実施しました。

また、令和4年度は計画の中間年であることから、事業の実績値等が計画の数値から大きく乖離した事業について、「量の見込み」と「確保方策」を見直し、令和5年度以降の計画を改定します。

1 教育・保育の需給計画（計画冊子：P58～64） **資料1**

令和3年4月1日時点における実績値については、教育・保育給付認定区分ごとに「量の見込み」と比較し、10%以上の乖離がある場合、原則として見直しが必要となりますが、令和3年4月1日時点における計画値と実績値を比較すると、全体の乖離率は10%以内となっていることから、計画の見直しは行わないものとします。

なお、「1号認定」「2号認定・学校教育を希望」の区分で10%以上の乖離が生じているものは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと想定されます。

「量の見込み」計画値及び実績値の比較（R3.4.1）【市全域】

利用者区分		計画値(人)	実績値(人)	乖離率
1号認定		6,028	7,037	117%
2号認定	学校教育を希望	1,038	836	81%
	上記以外	7,974	8,198	103%
3号認定	0歳児	1,002	1,029	103%
	1・2歳児	5,216	5,272	101%
計		21,258	22,372	105%
2号認定・3号認定分		15,230	15,335	101%

1号認定		計画より実績が上回っており、計画と実績の乖離が10%以上生じています。
2号認定	(教育)	計画と実績の乖離が10%以上生じています。新型コロナウイルス感染症の影響で幼稚園等の利用自粛や休園等により、預かり保育の利用が伸びなかったものと想定しています。
	(保育)	計画と実績の乖離は10%以内となっており、概ね計画どおりとなっております。
3号認定(0歳児)		計画と実績の乖離は10%以内となっており、概ね計画どおりとなっております。
3号認定(1,2歳児)		計画と実績の乖離は10%以内となっており、概ね計画どおりとなっております。

2 地域子ども・子育て支援事業(計画冊子:P65~78) **資料2、3**

(1) 実績値の評価

令和3年度の各事業の実績値に基づいて、定量的な評価を行いました。

【評価の基準】計画に対する実績値の割合

A:計画どおり又は計画以上に実施している。

(100%以上、又は確保提供量が実績値を上回っている場合)

B:計画に対して若干遅れているが、概ね順調に実施している。(80%以上100%未満)

C:計画に対して大幅に遅れている。又は実績値との大きな乖離がある。(80%未満)

(2) 質の評価

利用者等からの意見などを踏まえた定性的な評価を行いました。

【評価の基準】利用者等の良好な評価の割合

A:利用者等の評価が高い。(75%以上)

B:利用者等から一定の評価を得ている。(50%以上75%未満)

C:利用者等の評価が低く、課題がある。(50%未満)

※利用者等からの評価になじまない事業や、意見等の割合を数値化できない事業は、実績や質的向上の取組などを勘案して、評価しています。

(3) 中間年の見直し

事業の実施状況や利用状況等の実績値、今後の利用見込等により、計画の数値と概ね10%以上の乖離がある事業は、令和5年度以降の「量の見込み」と「確保提供量」の見直しを行いました。

ただし、乖離の原因が新型コロナウイルス感染症の影響により、平常時の実績（今後の利用ニーズを含む）の想定が困難である場合は見直しを行わないこととしました。

【点検評価の状況】

評価内容	A	B	C	評価対象外
実績値の評価	10事業	2事業	5事業	—
質の評価	14事業	1事業	0事業	2事業

【中間年の見直し】

有	4事業
無	10事業
対象外	3事業

【見直し対象事業】

- ・地域子育て支援拠点事業
- ・育児支援家庭訪問事業
- ・ショートステイ事業
- ・多様な集団活動利用支援事業

3 子ども施策の具体的事業（計画冊子：P85～143） 資料4

計画に位置付けた基本目標（10項目）の成果指標の推移、個別事業（362事業）の「令和3年度の実施状況」、「今後の課題・方向性等」、「予算・決算額」等を基本目標ごとに取りまとめました。

【事業の実施区分】

「拡充・充実」：事業内容等の拡大・充実を図ったもの

「現状維持」：現状どおり事業を維持するもの

「見直し」：事業執行の手段や方法を変更するもの（オンラインでの実施等新型コロナウイルス感染症対応のための変更を含む）、類似事業と整理・統合などを図るもの

「廃止」：事業を廃止するもの

実施区分	事業数
拡充・充実	28事業
現状維持	308事業
見直し	22事業
廃止	4事業

